



4月から消防学校に通い、消防のイロハや現場に必要な知識、技術を学ぶ四田さん



## 信頼される消防士

国東市消防本部 本署  
ひきだ ひなな  
**四田 雛凧**



訓練中の波戸崎さん(左)



事務処理や書類作成も大事な仕事です



## 安心を与えられる消防士

国東市消防本部 南出張所  
はとぎき かおる  
**波戸崎 郁**

# 無くそうし思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来

6月23日から6月29日は男女共同参画週間です

誰もが、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できるように、一人一人の取り組みが必要です。男女共同参画社会の実現のために、男女共同参画週間のこの時期に、まずは身近な人との関係について考えてみませんか。今回は、国東市で活躍している女性消防士を紹介いたします。

問 政策企画課 企画係 ☎72-5161

### 波戸崎さん

#### 消防士になろうと思ったきっかけ

高校生の時、祖父の病気がきっかけで命と向き合う仕事があったと思うようになりました。いろいろな職種がある中で、救急救命士という仕事を知り、救命士としてたくさんの命を救いたいと思いました。救急救命士の資格を最大限に生かせる職種が消防士だと思い、消防士になろうと決意しました。

#### その職場に飛び込むことに不安はなかったのか

市で初めての女性消防士だったこともあり、いろいろな面でプレッシャーや不安もありました。実際に火災現場など体力的に大変な現場や精神的につらい現場、女性であるからこそぶつ

かる壁も経験してきました。その度に、支えてくれる上司や仲間がいるので、今の私がいると思います。

#### 仕事内容

基本的には、3日に1回の、24時間勤務です。申し送りや車両・資機材点検から始まり、地理や水利などの調査や訓練、体力トレーニングなどを行っています。夜間は仮眠を取ることができませんが、出動指令があれば出動します。食事休憩は、仲間と談笑したりして気分転換になっています。翌朝は5時に起床し、清掃・車両整備をして交代する流れです。

#### 消防士としてのやりがい

救急の現場で命の危険な状態の傷病者の方が、病院に搬送した後、元気になって自宅に帰る

### 四田さん

#### 消防士になろうと思ったきっかけ

サッカーや陸上競技で培った「体力」や「忍耐力」を生かして人の役に立ちたいと思っていました。温泉を利用した際に、目の前で女性が倒れたところに遭遇しました。男性救急隊員3名がすぐに駆けつけ、対応している姿を見て、多くの命を救いたいと強く思うようになりました。女湯ということもあり、女性消防士の必要性を感じ、女性が必要とされる場面で活躍したいと思い、消防士を志しました。

#### その職場に飛び込むことに不安はなかったのか

身長が低く、命を助けるにあたり、周りに迷惑をかけないかという不安がありました。また、救命士の資格を持っていた方が人の命を救うことができると思うので、救急救命士の資格も取れたらなと思っています。

#### 今後の目標

私は将来、大分県初のレスキュー隊として交通事故や大規模災害などの人命救助を行い、一人でも多くの命を救いたいと

思っています。女性初のレスキュー隊になることで女性消防士の可能性を広げ、未来を担う子どもたちの希望にもなることができると思います。これから市の消防士として、女性だからこそできる優しい声掛けや個々にあった対応などを心掛け、安心感とたくさんの笑顔を届けたいです。

国東市消防本部消防長  
福田 晴繁

市消防本部では、2人目の女性消防士が誕生しました。近年、火災のみならず様々な自然災害が危惧されるなか、地域の方々の安心安全を守っていくうえで女性消防士の存在は重要です。無論、消防現場は、心身共にきつい場面にも多く遭遇するでしょうが、年齢や性別に関係なく、チームとしてお互いに助け合いながら切磋琢磨することで成長できると思います。今後更に、消防・救急・救助の様々な分野で、新たな気づきを、住民サービスの向上につなげてほしいと大いに期待しています。

男女共同参画は、SDGsの17のゴール(目標)のうち、特にゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」に関連する取り組みです。

国東市では、SDGsの理念を取り入れた「第三次国東市男女共同参画計画」を策定しています。男女共同参画社会を実現するためには、市民一人一人が男女共同参画に関心を持つことが重要です。年々、働き方や家庭のあり方、個人の価値観も変化しています。この機会に、誰もが自分らしく生きられる理想の男女共同参画社会について考えてみましょう。

5 ジェンダー平等を実現しよう



#### 今年から女性消防士が2人になりました

女性が職場に増えていくことで、女性ならではの視点や気づきを日ごろの業務や現場活動で発揮できるようになると思います。私たちも女性消防士として活躍の場を広げられるよう、日々の業務に全力で取り組んでいきたいです。